

整理番号	HT25141	分野	医歯薬学、その他 (キーワード)
------	---------	----	------------------

愛知医療学院短期大学

介助犬・聴導犬と共にリハビリお助け隊～障害適応の作業療法プログラム研究～

先生(代表者)	原 和子(はら かずこ)愛知医療学院短期大学・教授				
自己紹介	作業療法学の中でも、身体障害分野を歩んできました。趣味は油絵、陶芸、園芸など、作業療法でとりあげる活動はマルチに首をつっこんできました。介助犬との出会いは、学生が卒業研究にとりあげたのが始まりです。補助犬としてのみではなく、ペットとしての犬も人を癒すことを日々実感しています。				
開催日時・主な募集対象	平成25年 8月 3日(土)	(対象)	中学生	(人数)	30名
	平成25年 8月 4日(日)		高校生		30名
集合場所・時間	愛知医療学院短期大学 (城北キャンパス)		(集合時間)	10:00～10:30受付	
開催会場(集合場所)	愛知医療学院短期大学 住所: 〒452-0931 愛知県清須市一場 519 番地 アクセスマップ: <a href="http://www.yuai.ac.jp/intro/access.html">http://www.yuai.ac.jp/intro/access.html</a>				
<b>内 容</b>					
<p><b>【目的】</b> 介助犬・聴導犬の学びで得られた知識と体験をもとに、リハビリに励む人々のための作業療法を考える。</p> <p><b>【講義】</b> 「介助犬・聴導犬と作業療法(講師:原 和子)」について講義を行い、リハビリテーション医療の中でも啓蒙が遅れている作業療法の目的や作業療法士の役割を考えてもらう。</p> <p><b>【実習】</b> 肢体不自由者障害体験として車いすでの作業及び聴覚障害体験による作業を通して、作業行動上の問題を明らかにしてもらい、介助犬、聴導犬の役割について解説する。</p> <p><b>【グループワーク】</b> 中学生には「補助犬とロボットの違い」をテーマにしたシナリオにより、複雑系、開放システムである人間とは何かについて考え、リハビリや作業療法の必要性をまとめてもらう。遠まわしではあるが、人間の主体性、自我の確立について考えることで、いじめ問題の解決策につなげる。 高校生には「障害適応と補助犬」をテーマにしたシナリオにより、どのような状況でも人間は価値ある存在になることができ、さらに能力を伸ばす事ができるという可能性について考えてもらう。</p>					
<b>スケジュール</b>				<b>持 ち 物</b>	
(1日目(中学生)、2日目(高校生)とも同一日程) 10:00～10:30 受付(愛知医療学院短期大学 講堂集合) 10:30～11:00 開講式(あいさつ、オリエンテーション、科研費の説明) 11:00～12:00 講義「介助犬・聴導犬と作業療法(講師:原 和子)」 12:00～13:00 昼食(教職員・日本聴導犬協会職員を交えて)				・筆記用具一式 ・実習がありますので、希望者は、体操着を持参して下さい。	

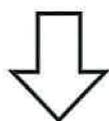
13:00~14:00 実習「介助犬・聴導犬のお仕事(日本聴導犬協会)」	特記事項
14:00~15:00 グループワーク(PBL:問題解決型学習による) &ティータイム	
・中学生テーマ 「介助犬・聴導犬はロボットとどこが違うか」	
・高校生テーマ 「介助犬・聴導犬と共に行なう作業療法内容を考える」	
15:00~15:20 PBL 発表準備	
15:20~16:00 PBL 発表	
16:00~16:30 修了式(アンケート記入、未来博士号授与)	
16:30 終了・解散	

《お問い合わせ・お申し込み先》

所属・氏名：	教育研究推進課・田原 靖子
住所：	愛知県清須市一場 519 番地
TEL 番号：	052-409-3311
FAX 番号：	052-400-6413
E-mail：	tahara@yuai.ac.jp
申込締切日：	平成 25 年 7 月 19 日(金)

《プログラムのテーマと関係する科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。